

第5回府中市市民協働推進会議 会議録

- 日時 平成29年9月7日（木）午後2時～午後3時
- 会場 市民活動センタープラッツ6階地域支援事務室
- 出席者 (委員)
藤江会長、長谷部副会長、荒金委員、井上委員、奥村委員、木村委員、
草郷委員、谷本委員、宮坂委員、吉井委員
(事務局)
中川市民協働推進部長、前澤協働推進課長、金崎協働推進課長補佐兼都
市交流担当副主幹兼支援係長、新妻協働推進係長、黒田事務職員
- 欠席者 長島委員
- 傍聴者 2名
- 議事
 - 1 開会
 - 2 議題 平成28年度協働事業等評価結果、平成30年度提案型
協働事業選考結果、市民協働推進行動計画中間見直し及び
協働に関する条例検討結果答申（案）について
 - 3 その他
- 資料 市民協働の推進に係る取組の進捗状況等についての評価・検証及び協働
事業提案制度に基づく協働事業の選定並びに市民協働推進行動計画中間
見直し等について（答申）（案）

1 開会

(会長) 定刻になりましたので、第5回府中市市民協働推進会議を開会します。

事務局から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

(事務局) 本日はご多忙のところ、本会議にご出席いただき、ありがとうございます。事務局から何点かご報告を申し上げます。

まず、本日の出席状況でございますが、長島委員から欠席とのご連絡をいただいておりますので、定数11名中10名の委員の皆様に出席をいただいております。

したがいまして、過半数に達しておりますので、本会議は有効に成立していることを併せてご報告します。

続きまして、本日の傍聴ですが、現在までに2名のご応募をいただいております。傍聴の許可につきまして、本会議のご判断をいただきたいと存じます。

(会長) 委員の皆さんにお諮りしますが、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) それでは、意義がないということですので、傍聴を許可します。

事務局は会場への誘導をお願いします。

(※事務局より資料の確認)

(事務局) 最後に、本日の流れについてでございます。

本日の議題については、1点、答申案の確認でございます。

前回いただいたご意見を踏まえ、この答申案の修正を行いました。

今回は、今年度最後の会議となりますので、皆様の目で再度確認いただき、追記すべき点や削除すべき点、表現方法など、具体的な修正点についてご意見をいただきたいと思いますと考えております。

事務局からは以上でございます。よろしくお願いいたします。

(会長) それでは、早速、議事を進めます。

前回8月17日に実施した第4回目の会議の議事録につきましては、事前にご確認いただいておりますが、何かございますか。

(委員) 議事録の18ページの中盤、「64ページの上の方で」云々という発言のところで、公募委員の採用に関する均衡是正をと記載されていますが、均衡の是正ではなく、不均衡の是正という趣旨で発言したものですから、そのように修正をお願いしたいと思います。

答申案の中にも、同様の誤植がありますので、答申案のところでお話しします。

また、その下の「組織に入っている人たちは」と記載されているところで「もう少しその均衡を是正」とありますが、「その辺りの不均衡を是正」と修正をお願いします。

併せて、その下の会長の発言ですが、委員選考の均衡の是正となってい

る部分も不均衡の是正ということで、訂正が必要と思われまますので、よろしくお願ひします。

(会長) 私の発言も不均衡となりますね。

議事録の中では3か所、均衡を不均衡と訂正するようお願ひします。

その他ありますか。

(委員) 9ページの中盤になりますが、委員と記載のある行の4行上で、「委員同士での意見が割れるくらい、それぞれ協働というところの精度があがってきている」とありますが、精度というよりは水準と思われまますので、修正をお願ひします。

(会長) よろしいでしょうか。

それでは、「均衡」を「不均衡」に、「精度」を「水準」に置き換えるということで、それでは、議事録として確定いたします。

事務局は、修正のうえ、前回の議事録及び資料を公開するよう手続をお願ひします。

2 議題 平成28年度協働事業等評価結果、平成30年度提案型協働事業選考結果、市民協働推進行動計画中間見直し及び協働に関する条例検討結果答申(案)について

(会長) これより議題に入ります。事務局より説明をお願ひします。

(事務局) それでは、恐れ入りますが、資料をご覧ください。

前回いただいたご意見を踏まえ、修正を行っております。

修正点といたしましては、大きくは3点ございまして、前回いただいたご意見を踏まえ、全般的に文章が長い箇所は短く修正をしていることと、提案型協働事業の採択理由を追記したこと、条例に関する意見等、前回の意見を追記したこととございまして。

修正箇所については、参考で添付している修正箇所一覧をご覧ください。

まず、「はじめに」でございまして、文章が長い箇所を短くしたことと、庁内連携や様々な主体との連携について、追記いたしました。

続きまして、「I 平成28年度府中市協働事業評価について」ですが、こちらも同様に、一文が長い箇所を短くしたことと、庁内連携や様々な主体との連携の追記いたしました。

評価シートについては、こちらも一文が長い箇所を短くするとともに、前回いただいた意見を踏まえて、表現の修正を行いました。

恐れ入りますが、15ページをご覧ください。

「4 平成30年度提案型協働事業 選定結果」につきましては、前回いただいた意見を踏まえ、採択された理由を追記いたしました。

採択された理由の部分ですが、採点基準で、高配点の部分の上位2位までの内容を記載しています。

採点基準の高配点の部分を具体的に申しますと、「地域課題・市民ニーズ分析」、「公共性・公益性」、「協働の必要性」、「協働の効果」、「相互理解」でございます。

恐れ入りますが、18ページをご覧ください。

「2 計画における目標の到達状況」の記載が漏れておりましたので、追記しております。併せて改行の部分の乱れがありますので、修正予定です。

恐れ入りますが、26ページをご覧ください。

「職員が公益的な活動に参加しやすい環境づくりの推進」でございますが、前回の意見を踏まえ、項目を削除せず担当課と調整のうえ、表現を修正しております。

なお、調査結果関連といたしましては、30ページの「既存公共施設の活用方法の検討」、31ページの「新庁舎における協働を支える場の整備」、32ページの「寄附をしやすい環境の整備」ですが、調査結果を踏まえ、修正を行ったものでございます。

恐れ入りますが、40ページをご覧ください。

「市民協働の推進に関する条例の要否を含めた検討について」でございますが、前回の意見及び、皆様からご提出いただいたシートでいただいた意見を踏まえ、修正しております。

なお、参考資料の修正箇所については、前回皆様から頂いたご意見を追記したものでございます。

本日は、今年度最後の会議でございますので、修正点について、具体的にご指摘いただきたいと考えております。

なお、事務局で並行して答申案の確認を行う中で、修正漏れが2点程ございました。

具体的には、1点目が、20ページの施策体系図と22ページの目標部分で、「新たに協働に取り組もうとする市民への参加の機会づくり」と、前回のままになっておりますが、「機会づくり」ではなく、「機会の提供」でございます。

2点目が、同じく22ページのページ部分、21ページまでは横に線が入っていますが、以降は入っていないので、統一するように修正する予定でございます。

そのほか、文言の重複、例えば4ページのイの協働事業のところ、「参加者も増えるなど、事業自体にも良い影響があるなど」のような言葉の重なりや、文頭のスペースが抜けているものなど、多少ございます。

もちろんお気づきの点は会議の中でいただければと思っておりますが、内容に関わる部分や表現方法などを、具体的にご意見いただければと考えております。

本日いただいた意見を反映のうえ修正し、正副会長の確認を踏まえ、答

申とする予定でございますので、よろしく申し上げます。

事務局からは以上でございます。

(会長) 審議が最後ということでよろしく申し上げます。

(委員) 議事録の修正でもお伝えしましたが、答申案の70ページ。

推進方策8-(3)「政策形成過程への参画のための公募委員制度の拡充」の、「推進会議における質疑・意見等」の中盤、「第4回会議」と記載があるところの真ん中で、「例えば市民の声をより反映させるために公募委員の採用に関する不均衡是正に努めて欲しい」というように修正をお願いします。

また、同じ「第4回会議」のところで、下から2行目で、「ある意味特権的な扱いを受けていると感じる時があるので、もう少しその辺りの不均衡を是正していただきたい」というように、修正をお願いします。

(会長) 先程と同じところですが、その他いかがでしょうか。

(委員) 3ページでは、「ア 市民提案型協働事業」、「イ 協働事業」となっていますが、6ページの評価シートでは、協働事業が先に来ていて、次に市民提案型協働事業が来ています。

もう1点、3ページでは、アとなっており、評価シートでは括弧書きの数字となっていますので、統一してはどうでしょうか。

(事務局) 委員ご指摘のとおり、バランスが良くないので、評価シートの順番を市民提案型協働事業を先にするよう、順番を変更いたします。

もう1点については、公文例に従いまして、大きな数字の次が括弧書きの数字、その次にアイウという表記をすることとなっておりますので、そちらについてはそのままとさせていただきたいと思えます。

(会長) 定めがあるということですが、順番は入れ替えていただくということですのでよろしいでしょうか。

(委員) 4ページの「しかしながら」の下の「未だ」ですが、漢字を使うことに意味はあるのでしょうか。

(会長) ひらがなの方が読みやすいですね。

(委員) 「いまだ」とも「まだ」とも、どちらとも読めますね。

(副会長) 「いまだ」ということかと思いました。

(会長) では、ひらがなということで修正をお願いします。

(委員) 同じく4ページの「ステークホルダー」の、「の」のところで、改行されているので、詰めるように修正してください。

(会長) ページの後ろのところの線は、入れることで統一するのでしょうか。

(事務局) ページのところは、戻り次第、昨年度の答申を確認し、統一することとします。

(委員) 意見ですが、平成30年度提案型協働事業について、市民提案型協働事業

は条件付きではありますが、3件採択されています。

それに対し行政提案型協働事業は1件であり、やや寂しい気がしています。

不採択となった「おもてなし in 府中」は、和 문화体験ということで内容が紹介されていますが、オリンピックが近づいている中、行政として、どこで行っても変わらないものより、府中に特化した形で内容を検討してはいかがでしょうか。

具体的には、地方に関心をもつ外国人ビジターが増えています。

府中の歴史や文化、府中固有のリソースはたくさんありますが、それが生かされておらず、どこのまちでもできるような着付けやお茶の体験となっています。府中でなくてもどこでもできますので、府中固有のリソースを生かした形で外国人の方に紹介いただけるような視点で、提案いただきたいと思います。

(会長) 総合計画の見直しの中でもオリンピック・パラリンピックに向けた視点がありました。

(委員) 府中ならではということを出した方が良いと思います。

(会長) 文言云々というところではなく、意見として承ります。

(事務局) 今の部分は答申書にも反映しますか。

(会長) 部会の案件ですし、前回文言も見直していますので、違った扱いで議事録に残すという形でよろしいでしょうか。

(委員) それで構いません。

(委員) 30ページの(2)「既存公共施設の活用方策の検討」の内容のところで、公共施設マネジメントのところですが、脚注が入るのではないのでしょうか。

(事務局) ご指摘のとおり漏れておりますので、内容の公共施設マネジメントのところに追記します。

(会長) 表の内容のところに1と記載されるということですね。

(委員) 確認しますが、21ページの掲載ページにページが入っていませんが、答申を出すときには入るのですよね。

(事務局) 掲載ページを記載します。

(会長) 答申案の該当ページを記載していくということですね。同じページが続くのでかえって見づらくはないのでしょうか。

(副会長) 確かにかえって見づらくなりそうですので、削除した方が良いのではないのでしょうか。

(会長) 該当箇所を示すのは親切ですが、見たときにしつこくならないような工夫をしたいと思います。

(事務局) 掲載ページを入れた形と落とした形で正副会長にご確認いただければと思います。

(委員) 4ページの上段の提案型協働事業は複数年度の提案ができるようにと記載がありますが、協働事業はその記載は入らなくてよいのでしょうか。

(事務局) 元々長年市の担当課と団体とで取り組んでいるものが協働事業ですので、複数年度ですでに取り組まれているものです。

提案型協働事業は単年度事業なので、複数年度の提案ができるようにと
いうことです。

(会長) 文言の修正はなしということによろしいでしょうか。

(委員) 考え方を確認できましたので、修正はなしで大丈夫です。

(委員) 1点質問ですが、参考資料で、条例に関する意見が列挙されていますが、推進会議の結論としては、条例制定に賛成という事でしょうか。それとも反対という事でしょうか。又は、単に列記しているという事でしょうか。

(事務局) 参考についてまずご説明いたします。

11ページのところで記載していますが、当初の原案として、平成28年度第5回での議論をもとに記載をしていましたが、前回の会議の中で、いただいた意見として、賛成、継続審議といったご発言がありました。

12ページに記載しているものは、皆様からご提出いただいたシートに記載されていた部分を列挙しております。

そのため、会議の中で出た意見をベースに、皆様から頂いたシートで、答申案を肉付けしているということです。

答申としては、必要という意見もありましたが、作る必要があるのかといった意見もありましたし、議論が十分尽くされていないため、継続的かつ慎重に審議していきたいという結論となりました。

(委員) 継続審議ということですね。

(会長) 議事録の20ページの下から5行目で、「審議していない引き継ぎ事項ということもありますので、9月の答申の中には継続審議という形で取り扱うことを確認したいと思います。」と記載があります。

参考では、委員の意見ということで並列に記載しているということです。

(副会長) 40ページの3の検討結果の冒頭に継続審議とすると書いてあって、その後意見が入っており、最後にまた結論が書いてあります。

(会長) 2ページのはじめにの第3段落で、条例の制定に係る要否を含めた検討を行いましたとありますが、結論が記載されていないから分かりづらいのかもしれないかもしれません。

(事務局) 答申書の40ページの冒頭と、41ページの最後に書いてあります。

(副会長) 答申に目次が入れば分かりやすいかと思えます。

(委員) 目次があると分かりやすいですね。

(会長) ページ数があるので、分かりづらいのかもしれないかもしれません。

ご意見いただいたところは、細かい部分で事務局と調整しながら進めていきますので、正副会長預かりということで、見やすく分かりやすくしていきます。

(副会長) 昨年度の答申ではどうでしたか。

- (事務局) 昨年度の答申では目次は入っていませんが、今年度は審議事項が多いので、作成し、正副会長と相談をいたします。
- (委員) 厚みが増せば増すほど、中々読みづらくなるので、要旨があればと思いますが。
- (会長) うまくまとめることができるかどうか分かりませんが、コンパクトに内容が知らせられるように工夫できないかという意見でした。
- (事務局) 計画の概要版はありますが、答申の概要版は例がない。より分かりやすくするという意見もいただきましたし、ホームページでは概要を記載しますので、そのような形で対応させていただけるとありがたいです。
- (委員) 事務局のやりやすいようにお願いします。目次があればよいかと思います。
- (会長) 見やすくホームページに概要を記載するという事で意見いただきました。この点についてはよろしいでしょうか。
- (委員) 先程お願いした市民提案型協働事業と協働事業のところ、4ページのところと評価シートの順番の入れ替えの関係ですが、46ページの意見の記載も逆にしないといけないのではないのでしょうか。
- (事務局) 評価シートの市民提案型協働事業を先にするので、ここは入れ替えしなくても大丈夫です。
- (会長) 作業の心配をいただきましたが、最小の修正で行うということです。
- (委員) 表現は良くできているのですが、読むのはボリュームがあるので大変ですね。
- (会長) よろしいでしょうか。たくさんのご意見ありがとうございます。
今日いただいた意見を踏まえ、資料の修正を行っていただいて、細かな文言調整等は正副会長預かりと言うことで、内容を確定し、市長に答申いたします。

3 その他

- (会長) 続きまして、その他ですが、事務局から連絡事項はありますでしょうか。
- (事務局) 事務局から2点、次回会議の開催について事務連絡がございます。
1点目は次回の会議の開催予定です。
冒頭お伝えしましたが、今年度の会議は本日が最終回となります。
ただし、委員の任期は2か年でございますので、原則このメンバーで来年も実施いたします。平成30年度もどうぞよろしくお願いいたします。
なお、次回会議の日程ですが、来年の5月頃の開催を予定しております。
日程が近づきましたら、別途調整をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
- 2点目は、この後、プラッツの施設見学を行いますので、お時間のある方はよろしくお願いいたします。
- 最後に事務局を代表いたしまして、市民協働推進部長の中川より、ご挨拶

をさせていただきます。

(※ 市民協働推進部長挨拶)

(※ 会長挨拶)

(※ 副会長挨拶)

(会長) それでは、次回は5月頃とのことですので、会議の開催日程の調整もお願いします。

他になれば、以上をもちまして、閉会いたします。お疲れさまでした。

以上